

# 光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



～圃場の心土破碎作業を行う齊藤太賀さん～  
(紹介は10ページ)





# 元気と栄養を!!



# 栄養

J A ところ（川上和則組合長）は10月24日、収穫したての農産物をはじめとした商品を販売する収穫“菜”を、常呂町スポーツセンター前の百年広場で行いました！

当イベントは「常呂町で生産された安心・安全な農畜産物を多くの地域住民の方々に提供し、地元産食材・加工品の素晴らしさを理解してもらい、地産地消の拡大に取り組むこと」を目的に始めたものです。今年度の収穫“菜”は、コロナウイルスの影響で規模を縮小せざるを得ませんでしたが、コロナ禍でも負けずに元気に過ごして欲しいとの願いを込め、この度の開催に至りました。コロナ対策をしっかりと講じたうえで開催された収穫“菜”当日は心地の良い秋晴れの中、大勢の来場者が訪れ、終了の合図がかかるまでずっと賑わっていました。





# みんなに 第11回 JAとくる

# 種々

# 開催!!

# 新型コロナウイルスに負けない本町農業



## 常呂町農業協同組合

副組合長 江田 哲

### 本町農業の推移

田舎より農協活動、地域活動にご理解とご協力をいただきおります事に心より感謝申し上げます。

本年は世界的に発生しました新型コロナウイルスの影響で主要事業であります組合員交流会の中止、JAとの収穫・菜の縮小開催と皆様にご迷惑をお掛けしました事お詫び申し上げます。また、生産向上のため必要な各生産組織の研修会などが中止となるなど、技術交流にもご苦労なさった事と察します。しかしながら、皆さんの徹底した新規コロナウイルス対応の生活様式と営農活動で無事収穫の秋を終えられた事に感謝と喜びを感じております。

本年の常呂町農業を振り返って見ますと、冬期間の寒さで土壤凍結が進み良好な圃場状態で春の播種、移植作業が始ままり、順調に推移いたしました。しかし6月5日に福山地区を中心に局地的な降雹被害がありました。深耕となつた圃場もあり被雹に遭われました組合員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。6月中旬に一時的な日照不足、低温状態が続きましたが、大きな影響もなく順調に生育しました。小麦の登熟が少々遅れましたが、8月に入つて本格的な刈取りとなり秋小麦、春小麦とも刈取りを終える事が出来ました。

出来ました。8月を迎えた度を超える日が続き干ばつ被害が一部圃場で散見されましたが、9月以降は比較的穏やかな日々が続き各作物の収穫作業、小麦、ニンニクの播種作業も順調に進みました。

主要作物の出来秋を見ますと、秋小麦きたほなみ全量1等で10・6俵／10a（計画対比106%）秋小麦ゆめちから1等、2等で9・3俵／10a（計画対比103%）春小麦全量1等で6・9俵／10a（計画対比115%）となりました。馬鈴薯については、8月の高温干ばつが肥大に影響し澱粉用途収量で56・7俵／10a（計画対比75%）加工用途は58俵／10a（計画対比

105%）となりました。玉葱については、6月の低温の影響で抽苔が発生しましたが4・87基／10a（計画対比21%）となりました。甜菜については、干ばつの影響が多少あつたものの期間内順調な生育で8・02t／10a（計画対比123%）となる見込みです。酪農については、4,000t／年（計画対比100%）の見込みです。総括しまして今年の農畜産物取扱額合計で50億円、計画対比122・6%になる見通しです。

### 農協内部動向

今年度は信用事業の体制整備基準の見直しにより機構改革を行いました。今までの担当部署変更などで皆さんにご不便をお掛けしましたが、事務的には営農と経済の連携がスムーズに機能しておりますので、今後も皆さんのがより利便性の高い環境づくりに努めて参ります。

第8次農業振興計画が皆で

### 最後に

来年度は新型コロナウイルスの影響が残り、農畜産物の販売が不安定になると予想されますし、不自由な生活形態も続くと思われます。また農業、農協を取り巻く環境についても国際競争力が益々進み多岐にわたり厳しくなってきています。

年を迎えますが、この様な時だからこそ皆さんのご理解とご協力をいただいて農協の原点であります相互扶助の精神で活動する事が必要だと思っています。

常呂農業の基盤を更に発展させ、持続可能な農業と暮らしがやすい地域社会を創っていくために役職員一丸となり取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

\*医療従事者の皆さん、日々命を守るためにありがとうございます。最前線で戦う皆さんに私たち女性部は心から感謝すると共に皆さんの健康を切に願いながら応援しております。



● 2000枚のマスクを受け取る京谷科長(右)

病院へマスク寄贈

～JAとの女性部～  
△△といひ女性部（寺田敬子部長）は10月27日、JA北海道厚生連常呂厚生病院へマスク2,000枚を寄贈しました。

用意したマスクは、寺町部長と小野寺真美副部長から同院の京谷幸子看護管理科長へ手渡され、寺町部長から「コロナ禍で大変な中、いつもありがとうございます。当女性部から皆さまのお役に立てばとの思いでマスクを寄贈させていただきます。ご活用いただき、これからも頑張ってください」とホールを送りました。

今回の取組みは、コロナ禍で実施できなかつた事業費の一部を使って地域に何かできないかと模索している中、同院がマスク不足に悩んでいることを知り、役員会の承認を経て行われました。

用意したマスクは、寺町部長と小野寺真美副部長から同院の京谷幸子看護管理科長へ手渡され、寺町部長から「コロナ禍で大変な中、いつもありがとうございます。当女性部から皆さまのお役に立てねばとの思いでマスクを寄贈させていただきます。ご活用いただき、これからも頑張ってください」とエールを送りました。



## ● 玉葱選果場で選果を見ながら説明を聞きました

新工場などを視察

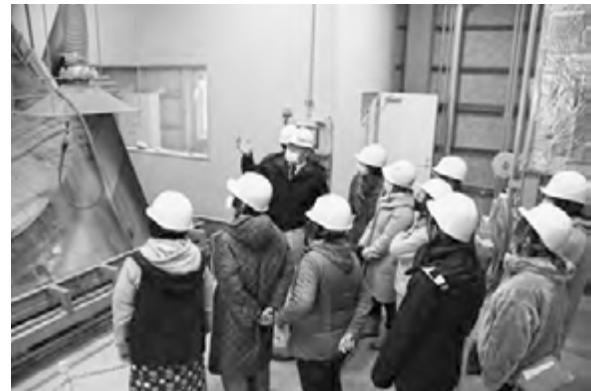
JJAとJNの女性部は11月18日、女性部・フレッシュユース部会の役員合わせて10人が参加し「令和2年度役員合同視察研修」を行いました。

調製施設、株常呂町産業振興公社を視察。まず玉葱選果施設と小麦乾燥調製施設を施設コントラ課の佐藤孝課長から概要などについて説明を聞きながら案内していただきました。小麦乾燥調製施設の第2工場は今年新しくなったばかりで旧第2工場の時から比べると大型ダンプで運ばれてきた麦を一度で全て受けられるようになり、また、受入れた麦の調整時間も短縮され作業効率があがつたそうです。

次に株常呂町産業振興公社では米山茂樹専務より同公社の概要を説明していただいた後、今年できた新工場へ。ここでは北見工業大学と共同で開発を

調製施設、株常呂町産業振興公社を視察。まず玉葱選果施設と小麦乾燥調製施設を施設コントラ課の佐藤孝課長から概要などについて説明を聞きながら案内していただきました。小麦乾燥調製施設の第2工場は今年新しくなったばかりで旧第2工場の時から比べると大型ダンプで運ばれてきた麦を一度で全て受けられるようになり、また、受入れた麦の調整時間も短縮され作業効率があがつたそうです。

次に株常呂町産業振興公社では米山茂樹専務より同公社の概要を説明していただいた後、今年できた新工場へ。ここでは北見工業大学と共同で開発を



●ホタテ貝がらが粒状化しているところを見学

## 町内小中学生に藝術とデザインを募集!

## ～JAところ青年部 食育圃場看板設置事業～

- ★ JAところ青年部では、食と農の大切さを学んでもらうため、例年町内の小学3・4年生を対象に、食育事業を行っています。
  - ★ この度、食育事業で作物の植付と収穫をするための専用畑を設置したことにもない、食育活動のPRを兼ね、看板を設置することとなりました。
  - ★ そこで、この看板を設置するにあたり、畑の名前(愛称)と看板のデザインを、食育を受ける(受けた)町内の小中学生を対象に募集しています。
  - ★ 愛称部門・デザイン部門それぞれの最優秀の方には看板に掲載されますので、対象の児童・生徒の方はふるってご応募下さい。

締め切り:令和3年1月22日(金)

詳しくは  
JA公式  
HPへ



# JJA北海道中央会

## 新採用職員実習の受け入れ

JJA北海道中央会では、毎年新規採用職員に農協系統職員としての自覚を促すことを目的にJJA実習が実施されており、10月26日から2週間、当JJAで2人を受入れました。

JJAの実習では、各部の業務の体験や、給油所での実習、牧場での退牧も体験しました。



福田

遼さん  
(農政対策部)

JJA実習では、各部署で1日ずつ研修させていただき、販売や営農、信用など様々な仕事を学ぶことが出来ました。特に牧場退牧では、人生で初めて牛と接し、牛を扱うことの大変さを実感しました。

この2週間は、職員の方々や生産者の方々と本当にたくさん話をさせていただきました。中央会で働いているだけでは、分からなかったことも多くあり、貴重な2週間となりました。研修、指導していただいた常呂町農協の職員の方々、実習させていただいた江田副組合長とそこのご家族に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

### 不動 佳樹さん (JA総合支援部)

農協の業務は幅広く、様々な形で組合員の方々や地域の方々にも関わっているものであることを強く感じました。組合員の方々と地域の方々両方から親しまれ、常呂町の中でなくてはならない組織として、農協が存在していると感じられました。農協ではデスクワークと事務所から出る仕事の双方を体験させていただきましたが、一つとして職員の方が手を抜いている場面を見ることなく、職員の一人一人が常に自分の仕事が何のために行われているかの目的意識を持っている姿が印象的でした。ぜひ見習いたいと思いました。



また、JJA役員宅での1泊2日の農家実習も行われ、てん菜の収穫作業を実際の現場で経験することが出来たと思います。

今後は、この経験を実業務の中で活かされ、中央会職員として活躍されることを願っています。

JAとうらば、10月25日に大空町にある女満別空港で開催された空の駅・オホーツクマルシェに出店しました。

当JAは、天候にも恵まれ多くのお客様が来場。当JAでは黒二ニンニクやお赤飯の素などの加工品を販売しました。

このマルシェは、観光客をターゲットに販売を行い、オホーツクの名産品をPRする目的で開催され、コロナ禍の中でも多くの観光客の皆さんに来場頂きました。

年は「この産の農産物も欲しいです」といったお声も頂き、盛況下の中終了しました。来年度以降も開催されるのであれば玉葱やところのピンクにんにくといった農産物を販売し消費者にアピールしていきたいと思います。



販売は山田瞬也職員と武田涼平職員で行いました

# 空の駅 オホーツクマルシェ

## 女満別空港で開催、観光客へ名産品PR



JAとうらば、10月25日に大空町にある女満別空港で開催された空の駅・オホーツクマルシェに出店しました。

当JAは、天候にも恵まれ多くのお客様が来場。当JAでは黒二ニンニクやお赤飯の素などの加工品を販売しました。

このマルシェは、観光客をターゲットに販売を行い、オホーツクの名産品をPRする目的で開催され、コロナ禍の中でも多くの観光客の皆さんに来場頂きました。

年は「この産の農産物も欲しいです」といったお声も頂き、盛況下の中終了しました。来年度以降も開催されるのであれば玉葱やところのピンクにんにくといった農産物を販売し消費者にアピールしていきたいと思います。



秋も終盤に差し掛かり寒さが増した10月30日、農協の川東牧場で酪農家と常呂総合支所産業課の協力の下、若牛たちの退牧が行われました。

きました。約160日間、栄養たっぷりの草が茂る牧場で過ごし、逞しく成長した若牛72頭は各酪農家に連れられ我が家を預けました！育成牛を預けていた酪農



## 元気に駆けていく牛

愛しの我が家へ！

物を生産する過程で使用する農ビ・農ボリ・農薬・農器など)を適正に回収することが義務化されている中、本年 第2回目の廃プラ回収を11月10日(日)、当つて 2号倉庫横で行いました。今回、組合員から農ボリ(2t)、3t(OK)、農じ43t(OK)、畜糞箱の合計で17tのポール

石油35kℓ 農薬器具器  
4,340kℓペー  
ル缶18kℓ バッテリ  
ー1kℓが回収されま  
した。



上：廃プラ計量中  
下：育苗トレイの積込み

クリーンな環境へ  
ご回収の回収

# 感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。



上:圧巻の大きさです  
下:精密な操作で動いています

JJAところ（川上和則組合長）は11月16日、秋まき小麦の防除を行いました。ヘリコプター防除は、株式会社コハタ・新富地区防除組合に委託し、申込のあった16戸1団体の、計44圃場（面積98・32ha）の防除が行われました。

## 秋播き小麦圃場 ラジコンヘリで防除

## 人間ドックを受診しましょう！

3大死亡原因である「がん・心臓病・脳卒中」は早期発見が重要です。JAところでは、30歳以上の受診者を対象に基本検査の半額助成を行っています。健康維持のため、必ず年1回の受診を行いましょう！年末年始は大変混み合いますので、早めの申込みをお願いします。

## 常呂町 産業振興公社より お知らせ

\*12月より営業時間が変更になります\*

- 12月～3月まで…9時～17時
- 土曜、祝日…休業

■営業時間などでわからない事がありましたら（54-3308）までご連絡ください。

## JAところ年末年始業務日程のお知らせ

■休業日

区分		令和2年													令和3年						
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	
		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
農協業務	信用部		平常	平常	平常	平常	平常			平常	平常	平常					平常	平常	平常	平常	
	本所キャッシュコーナー		平常	平常	平常	平常	平常			平常	平常	平常					平常	平常	平常	平常	
	常呂厚生病院 キャッシュコーナー		平常	平常	平常	平常	平常			平常	平常						平常	平常	平常	平常	
	事務所・資材課店舗		平常	平常	平常	平常	平常			平常	平常									平常	
共同給油所		平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	午前中		午前中	平常	平常	平常	
普及センター		平常	平常	平常	平常	平常			平常								平常	平常	平常	平常	
農民同盟		平常	平常	平常	平常	平常			平常	平常									平常		
共済組合	本所事務所																				
	家畜診療所															当番制(急患畜の対応は当番獣医が行います)					
	人工授精所														●	■	●	■	●	●	

▲印…配達業務は休業

●印…人工授精受付時間 午前：8時30分まで、午後1時まで

■印…午前：8時30分までの1回受付とします。（午前のみで午後は休み）

## 行事予定表

12月1日(火)～12月31日(木)

12月 5日(土)

閉組日

12月12日(土)

閉組日

12月19日(土)

閉組日

12月21日(月)

第11回定例理事会

12月26日(土)

閉組日

12月29日(火)

一般業務仕事納め

12月30日(水)

金融共済店舗仕事納め



## 第9回理事会報告(10月23日開催)

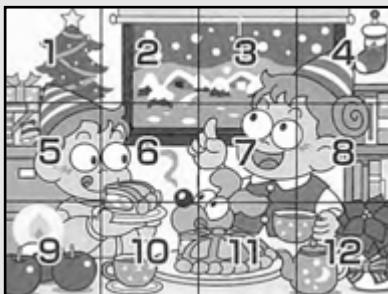
- ◆出資均衡調整要領の一部改正について
- ◆金利設定会議要領の一部改正について
- ◆資金貸付に伴う農協と理事の契約について
- ◆令和元年産加工生食馬鈴薯共同計算について
- ◆令和元年産小豆共同計算について
- ◆令和2年産加工生食馬鈴薯共同計算について
- ◆令和2年産小豆共同計算について
- ◆令和2年産原料てん菜共同計算について
- ◆降雹被害(令和2年6月5日)に対する購入農薬の早取価格対応について
- ◆令和2年産生食加工馬鈴薯の仮渡金について

### 〈報告事項〉

- ◆内部監査報告(無通告監査)について
- ◆9月29日発生の断水対応について
- ◆令和2年度経営継続補助金(第1回公募)の審査結果について
- ◆JA北海道中央会新採用職員実習受入について(変更)
- ◆職員の退職について
- ◆令和2年7月豪雨JAグループ支援募金結果報告について

## まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探ししましょう。



### 応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、洗車カードをプレゼントします。

### 先月の当選者・解答

11月号のクロスワードパズルの答えは「ワイングラス」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。  
おめでとうございます。

深尾 美江子さん(岐阜) ※( )内は地区名です。

## 読者の声

★クロスワードパズル今回はちょっと考えました!表紙の若者たち、これから楽しみですね!(福山地区・今橋祐子さん)

★久しぶりに頭を使いました。

(豊川地区・近藤香奈子さん)

68円となりました。  
募金額は37,3

した。  
金として、来場者へ  
の募金活動を行いました。

JJAとこる青年部（安藤  
貴彦部長）は11月9日、北  
見市社会福祉協議会常呂支  
所で、松金勲副会長に赤い  
羽根共同募金を贈呈しまし  
た。

青年部は、10月24日に開  
催されたJJAとこる主催の  
収穫“菜”で、地域  
のためにできること  
を検討。

今年から小学生向  
け食育事業として設  
置した食育専用圃場  
で获れた馬鈴しょと  
芋玉セットをチャリテー  
墓金として用け  
た玉ねぎを合わせた  
芋玉セットをチャリテー  
墓金として用け  
て、収穫“菜”当  
意し、収穫“菜”當  
日には赤い羽根共同募  
金として、来場者へ  
の募金活動を行いま  
した。



右から、松金勲副会長、安藤貴彦青年部長、今橋博行さん、清尾佳祐さん



赤い羽根共同募金  
(収穫菜にて)

## 赤い羽根共同募金に募金

～JJAとこる青年部～

## 甜菜の 収穫写真



田房輝幸さんの圃場で撮影

森澤正太さんの圃場で撮影

### 編集後記

- 12月に入り、本格的に寒さが増してきました。これからますます寒くなってきますので、体調管理に気を付けて毎日元気に過ごしていきましょう！
  - コロナウイルスが全国的に再度猛威を振るっています。組合員の皆様におかれましても不要不急の外出は控え、手洗いうがい・マスクに消毒を心掛け、コロナウイルス対策をしっかりと行いましょう。
  - ※お詫び：新規就農者の紹介のコーナーですが、次号以降に掲載することとなりました。楽しみにされていた方には心よりお詫び申し上げます。
- 《営農企画課：広報担当》

### 次世代を担う 若者たち

#### 圃場の心土破碎作業を行う齊藤太賀さん

今月の表紙は、共立地区の齊藤太賀さん（27）です。サブソイラーで心土破碎をしているところを撮影させていただきました。撮影後に今後の抱負について聞くと、「自動操舵システムや新機械の導入で作業効率を上げることで耕地面積を拡大し収量・収入を増加していく」と。また、家族の負担を少しでも減らし毎年行く旅行や趣味のキャンプの機会を増やしたい」と農業・家族に対する真剣な考えを聞くことが出来ました。農作業でお忙しい中、撮影にご協力いただきありがとうございました。

